

全体	目次	前回	次回	略解	樋口さぶろお ^a 更新 Time-stamp: "2005/07/12 Tue 14:33 hig"
----	----	----	----	----	---

quiz 略解 3

$$1. |\mathbf{B} \times \mathbf{C}| = \left| \begin{pmatrix} -6 \\ 4 \\ 4 \end{pmatrix} \right| = 2\sqrt{17}$$

$$2. |\mathbf{A} \cdot (\mathbf{B} \times \mathbf{C})| = |22| = 22$$

3. 平行 4 辺形の面積の $\frac{1}{2}$ で, $\sqrt{17}$.

4. 4 角錐なら平行 6 面体の $\frac{1}{3}$. 3 角錐は底面が $\frac{1}{2}$ なので, $22 \cdot \frac{1}{2} \cdot \frac{1}{3} = \frac{11}{3}$.

quiz 略解 4

$\mathbf{N} = \mathbf{N}_1 + \mathbf{N}_2 = \mathbf{r}_1 \times \mathbf{F}_1 + \mathbf{r}_2 \times \mathbf{F}_2 = \begin{pmatrix} -5 \\ 0 \\ 0 \end{pmatrix} + \begin{pmatrix} 7 \\ 0 \\ 0 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 2 \\ 0 \\ 0 \end{pmatrix}$ であり, x 軸の正の向き. この向きに進む右ねじのまわる向きだから, 反時計回り.

^aCopyright ©2003-2005 Saburo HIGUCHI. All rights reserved.

4. ベクトル, 直線, 平面

今日の目標

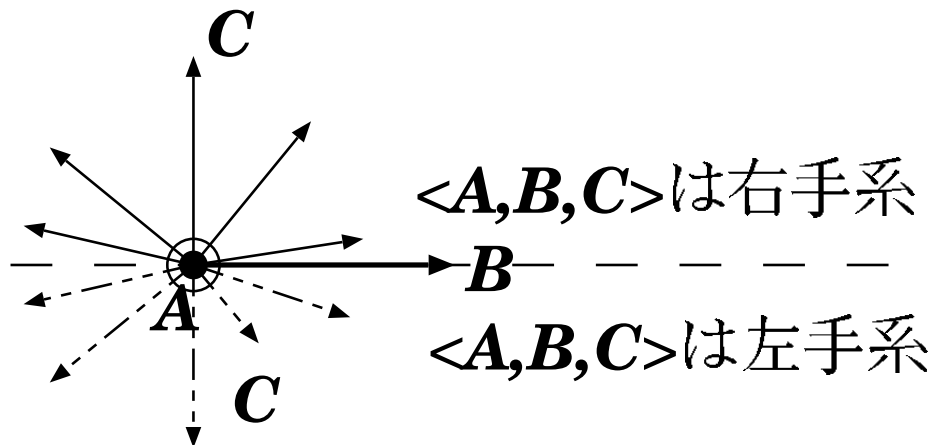
- スカラー 3 重積を利用して右手系左手系を区別できるようになる
- ベクトルで直線と平面を表現できるようになる

4.1 右手系と左手系

3次元ベクトルの順序付きの3つ組 $\langle A_1, A_2, A_3 \rangle$ を考える (順序付き, とは $\langle A_1, A_2, A_3 \rangle$ と $\langle A_2, A_1, A_3 \rangle$ とを異なるものとして区別すること).

- A_1, A_2, A_3 が同一平面上にあるとき, 組 $\langle A_1, A_2, A_3 \rangle$ は右手系でも左手系でもない.
- A_1, A_2, A_3 が同一平面上にこないように注意して別々に動かしていったら, A_1 を右手親指, A_2 を右手人差指, A_3 を右手中指と重ねられるなら, 組 $\langle A_1, A_2, A_3 \rangle$ は右手系.

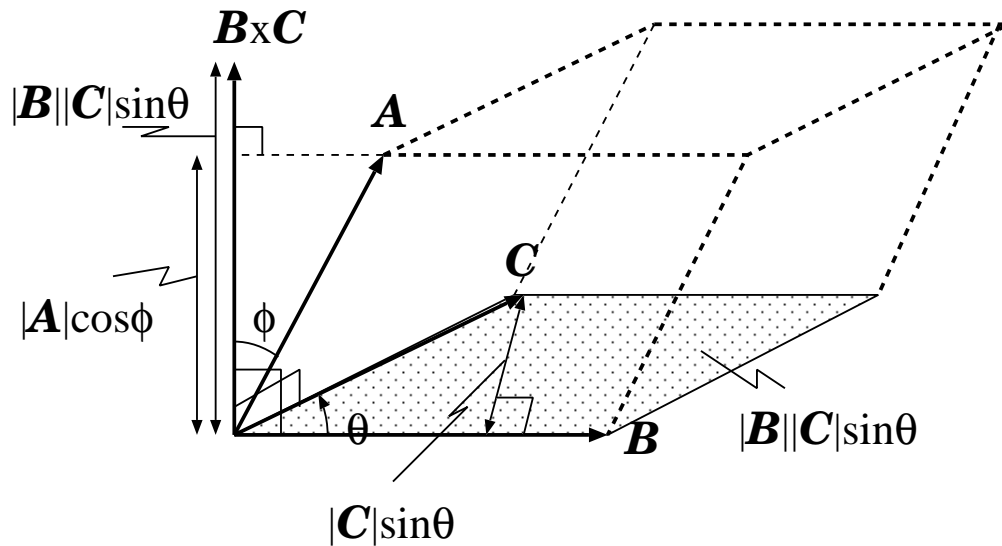
- 重ねられないなら組 $\langle A_1, A_2, A_3 \rangle$ は左手系. (左手に重ねることができるとき, といっても同じこと).
- 右 (左) 手系を $A_1 \rightarrow A_2 \rightarrow A_3 \rightarrow A_1$ のように 26 入れ替えたものは右 (左) 手系のまま.
- $A \leftrightarrow B$ のように 27 した (互換という) ものは右手系から左手系 (あるいはその逆) にかわる.



- ◎ ベクトルは紙面こちら向き
- ⊗ ベクトルは紙面むこう向き

4.2 スカラー 3 重積による右手系と左手系

- $A \cdot (B \times C) > 0 \Leftrightarrow \langle A, B, C \rangle$ が右手系.
- $A \cdot (B \times C) = 0 \Leftrightarrow A, B, C$ が 28
- $A \cdot (B \times C) < 0 \Leftrightarrow \langle A, B, C \rangle$ が左手系.



例題 7

次の、ベクトルの順序付きの組を考える.

$$\langle A, B, C \rangle = \left\langle \begin{pmatrix} 1 \\ 1 \\ 1 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 1 \\ -1 \\ 1 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 0 \\ 0 \\ 1 \end{pmatrix} \right\rangle. \quad (41)$$

1. これは右手系か, 左手系かを答えよう.
2. これらを 3 辺とする平行 6 面体の体積を求めよう.

4.3 スカラーとベクトルにまつわるいろんな演算

例題 8

A, B, C を上の例題と同じベクトルとする.

1. $(A \times B)C$
2. $(A \times B) \cdot C$
3. $A \times (B \cdot C)$

を, スカラー, ベクトル, 間違った式に分類しよう. 正しい式は値を求めよう.

4.4 ベクトルで表すいろいろな図形

直線のパラメータ表示

$$\boldsymbol{r} = \boldsymbol{A}t + \boldsymbol{C} \quad (t \text{ はパラメータ}) \quad (42)$$

(平面内の) 直線の方程式

$$\boldsymbol{r} \cdot \boldsymbol{n} = C. \quad (C \text{ は定数}) \quad (43)$$

\boldsymbol{n} は, 直線に直交する単位ベクトル.

$\boldsymbol{n} = \begin{pmatrix} a \\ b \end{pmatrix}$ としてこの方程式を成分で書くと,

$$ax + by = C. \quad (44)$$

(空間の中の) 平面のパラメータ表示

$$\boldsymbol{r} = A\boldsymbol{t} + B\boldsymbol{s} + \boldsymbol{C} \quad (t, s \text{ はパラメータ}) \quad (45)$$

(空間の中の) 平面の方程式

$$\boldsymbol{r} \cdot \boldsymbol{n} = C \quad (C \text{ は定数}) \quad (46)$$

\boldsymbol{n} は平面と直交する単位ベクトル, つまり単位 32 .

$\boldsymbol{n} = \frac{\boldsymbol{A} \times \boldsymbol{B}}{|\boldsymbol{A} \times \boldsymbol{B}|}$ で求められる.

$\boldsymbol{n} = \begin{pmatrix} a \\ b \\ c \end{pmatrix}$ としてこの方程式を成分で書くと,

$$ax + by + cz = C. \quad (47)$$

なぜ?

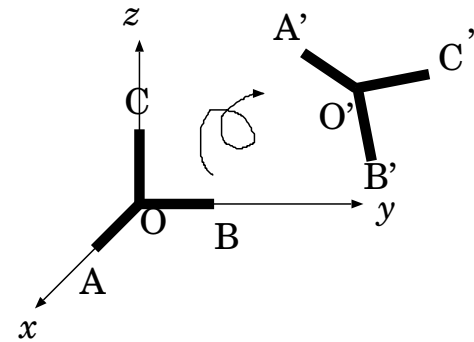
例題 9

1. 単位法線ベクトルが $n = \frac{1}{\sqrt{14}} \begin{pmatrix} 3 \\ 1 \\ -2 \end{pmatrix}$ であり, 点 $r_0 = \begin{pmatrix} 1 \\ 0 \\ 0 \end{pmatrix}$ を通る平面の方程式を求めよう.
2. 単位法線ベクトルが $n = \begin{pmatrix} 0 \\ 0 \\ 1 \end{pmatrix}$ であり, 点 $r_0 = \begin{pmatrix} 0 \\ 0 \\ -4 \end{pmatrix}$ を通る平面の方程式を求めよう.

4.5 問題やってみよう

例題 10

最初, 3本足の金具 $OABC$ が原点に図のように置かれていた. この金具を曲げたり壊したりせずに, 空中に投げたところ, ある瞬間には, $\overrightarrow{O'A'}$ は $\begin{pmatrix} 1 \\ 3 \\ 1 \end{pmatrix}$ の向き, $\overrightarrow{O'C'}$ は $\begin{pmatrix} -3 \\ 1 \\ 0 \end{pmatrix}$ の向きになっていた.

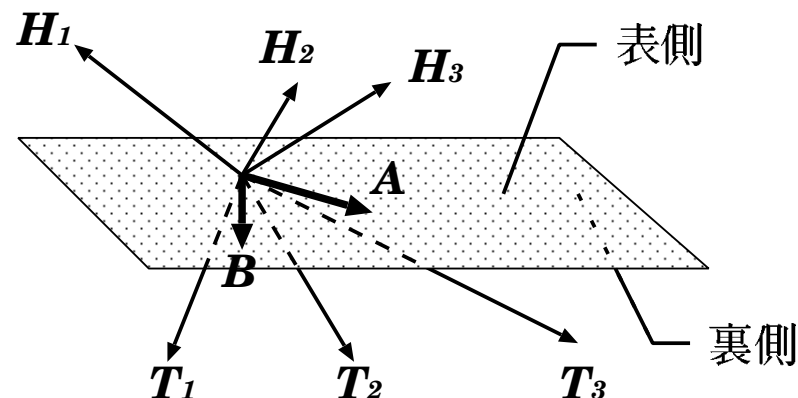


1. この瞬間の $\overrightarrow{O'B'}$ の向きの単位ベクトルを求めよう.

Hint $\overrightarrow{O'B'}$ は平面 $O'B'C'$ の法線ベクトル.

35

x, y, z 軸の正の向きの基本ベクトルを i, j, k とする. ベクトル $A = i - 2j = \begin{pmatrix} +1 \\ -2 \\ 0 \end{pmatrix}$, $B = i + 2j + 3k = \begin{pmatrix} 1 \\ 2 \\ 3 \end{pmatrix}$ とする.



1. $|B|$ を求めよう.
2. $A \cdot B$ を求めよう.
3. $A \times B$ を求めよう.
4. $B \times (B - 2A)$ を求めよう.
5. ベクトル A, B の両方がのっている平面は 1 つだけある (図では薄く塗られている. それは xy 平面とは異なる). 図は, その平面を斜めから見たものである.

ベクトルがこの平面の表裏どちら側を向いているかについて, H_1, H_2, H_3 のようなベクトルを表向き, T_1, T_2, T_3 のようなベクトル

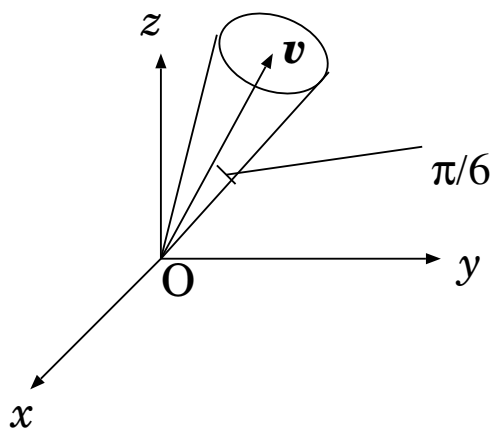
ルを裏向きということにする.

$p = \begin{pmatrix} 0 \\ 6 \\ 1 \end{pmatrix}$ が裏向きか表向きか考えよう.

quiz 6

原点を頂点とする, 無限に高い, 傾いた円錐を考えよう. ベクトル $v = \begin{pmatrix} 1 \\ -1 \\ 5 \end{pmatrix}$ は円錐の中心軸に平行で, 頂点から底面に向かう向きである. (図の描き方は不正確です.) また, 円錐の軸と母線のなす角は $\pi/6$ である.

2点 P_1, P_2 は, $\overrightarrow{OP_1} = \begin{pmatrix} -1 \\ -1 \\ 5 \end{pmatrix}$, $\overrightarrow{OP_2} = \begin{pmatrix} -1 \\ +1 \\ -3 \end{pmatrix}$ である. この2点はそれぞれ, 円錐の内部, 表面上, 外部のどこにあるか答えよう.



教科書のお奨め問題

香中 1.4 章末問題 1.3, 1.4, 1.5, 1.9, 1.10, 1.11, 1.12

今日の quiz の解答は今日中に Web に置きます.

科目のページ + リクエスト / 質問 / 苦情用掲示板



<http://hig3.net>

全体	目次	前回	次回	略解
----	----	----	----	----